

## 区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和2年10月23日（金曜日） 19時から21時
会 場	鷺宮区民活動センター 洋室2
テ ー マ	中野区基本構想改定検討素案について
出席者 区 民	計8人
区 側	区長、企画部長、基本構想担当課長、鷺宮すこやか福祉センターアウトリーチ推進担当課長
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

区長あいさつ	
<p>基本構想検討素案についての区民意見交換会は、2月に1回実施した後に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中断していた。この意見交換会は、新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえて基本構想検討素案を改定したので、改めて実施することとしたものである。</p> <p>基本構想は、中野が10年後に目指すまちの姿を描くものである。重視しているのは、少子高齢化対策である。日本全体の人口は減少しているが、中野区は、当面の間は人口は減らないと推計している。しかしながら、現在、0～14歳が区の全人口に占める割合は、23区中で最下位である。子育て家庭が暮らしやすい環境を整えていく必要がある。また、中野区の65歳以上の人口は増加傾向が続き、一方、総人口は2035年をピークに、その後減少すると考えている。これから、3人に1人が高齢者という社会が到来する中で、地域で支えあい、誰もが安心して暮らせるようにしていく必要がある。</p> <p>また、これまでも区では災害対策に取り組んできた。近年、全国各地で台風等による被害がでていいる。水害、震災など自然災害に対して、引き続きしっかり備えていきたい。今日は、積極的にご意見をいただければと思う。</p>	
区民の意見・質問	区長の回答等
改定検討素案が区ホームページに公開されているが、検討素案からの主な変更点を示す下線が付いていないので、改善してほしい。	今後、対応する。
「多様性により新たな価値をつくります」について、多様性による新たな価値とはどのようなものか。	国籍や文化、年齢、障害、性別、性自認や性的指向などが異なる人たちが社会参加や交流の機会を通して、地域で活躍できる場を創出し、地域の特色や新たな価値が生まれている姿を描いている。
「時代の変化に対応したまちづくりを進めます」は、具体的にどこのエリアを指しているのか。	主に、西武新宿線沿線の各駅のまちづくりのことを指しているが、区内全域で進められているすべてのまちづくりが対象である。
中杉通りの交通量が多すぎて、歩きにくい。拡幅等は進んでいるのか。	中杉通りは都道である。現在、カーブをなくして、駅まで道を通していく等、都が事業を進めている。都と連携して、進めていきたい。
アメリカでは、保育園等と高齢者施設が一体になっていて、園児が高齢者施設のスペースを必ず通るような作りをする等、交流が図れるように工夫している施設がある。運動会を一緒に実施するなど、ソフト面の工夫もすることで、高齢者の健康に良い影響を与えるとともに、子どもが高齢者への関心、死への理解などが進んでいる。ハード面で縦割りをせずに一体的にしていくことはできないか。	ご提案のような考えに基づいた子どもと高齢者の複合施設を設置する計画は、今のところはない。子どもと高齢者が継続的に交流するためには、コーディネーターが必要だと思っている。保育園の方針にもよるが、特別養護老人ホーム等の介護施設に行き交流するなどの取組を行っている保育園もある。子どもと高齢者の双方が良好な関係となる取組を進めていきたい。
根拠となるデータをしっかり調べて、具体的なビジョンを示し、取組を進めてほしい。	エビデンスに基づいて政策を形成し、それを区民にも示していきたい。

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>「社会の変化に対応した質の高い教育を実現します」に、「質の高い教育」と「特色のある教育」とあるが、どのようなものか。</p>	<p>質の高い教育とは、「知、徳、体」の力を高めることにより、児童・生徒に予測困難なこれからの社会を「生き抜く力」を育むことができる教育である。保育園・幼稚園・小学校・中学校の学校間の連携や、学校と地域とのつながりが強いことが、中野区の学校教育の強みである。その強みを活かした中野らしい教育が特色ある教育であると捉えており、特色ある教育を充実させることにより、質の高い教育を実現させていくことができるものと考えている。</p>
<p>学校の教員の働き方改革を進めることが、教育の質を更に高めていくことにつながると思うので、積極的に進めてほしい。</p>	<p>教員の事務の負担を軽減できるよう、区として支援していきたい。</p>
<p>西武新宿線沿線のまちづくりの検討に関わっているが、区民の意見をくみ上げようという姿勢がないと感じる。西武新宿線連続立体交差事業は都の事業なので、区では何もできないと言われる。対話の区政を進めてほしい。</p>	<p>西武新宿線の連続立体交差事業については、都が決めるというのは事実だが、区民の意見については、都に伝えている。様々な意見があるということは伺っており、頂いたご意見は都に適切に伝えていくので、今後のご意見をいただきたい。対話の区政を進めることが、行政が区民に信頼されるための一番の方法だと思っており、決めたことの原因をしっかりと説明できるようにしていきたいと考えている。</p>
<p>ひとり暮らしで身寄りがいない人の終活の支援をしてほしい。身寄りのない人が生前、区と契約をしておき、いざというときに、区が警察や消防と連携し身元を把握し、その人の望んだ形で手続などがとられる。横須賀市でそういったサービスを行っていると聞いたので、中野区でも取り入れてほしい。</p>	<p>中野区も、民間の賃貸住宅に住んでいる単身者に対して、見守りや亡くなった際の対応等をセットにした「あんしんすまいパック」という事業を行っている。終活の支援については、今後ニーズが高まってくると思っている。高齢者に対するきめ細やかなサービスについて、今後も検討していきたい。</p>
<p>外国籍で、発達障害のある子どももいるので、きめ細かな対応をしてほしい。</p>	<p>外国籍の児童が多くを占める学校がある自治体の事例も参考に、きめ細かな対応をしていきたい。</p>
<p>「生涯現役で生き生きと活躍できる環境をつくります」について、個人の強みを活かしているという視点が強く、支援が必要な人への配慮が弱いと感じる。「第2、第3の生きがい」を持ちたくても持てない状況にある高齢者もいると思う。</p>	<p>個々の状況に応じて支援する体制を整えていくことが必要だと考えており、そのことについては「人生100年時代を安心して過ごせる体制を構築します」に描いている。</p>
<p>高齢になったら、何もなくても生きていける社会であってほしい。</p>	<p>超高齢社会を迎える中で、日本として、社会全体のデザインを考えていく必要があると思っている。</p>
<p>子どもを産みたいと思える区であってほしい。</p>	<p>中野区は、出産を契機に、他の自治体に転出している世帯が多い。子どもを産み、育てたいと思ってもらえるよう、取組を進めたい。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>子どもの出産を契機に、他の自治体に転出している世帯が多いが、どのように改善していくのか。</p>	<p>中野区は、児童館などで地域とのつながりがあり、地域の大人が子どもを見守っているなど、他区と比べて子育て環境は悪くないと思っている。一方で、他区との差別化を図り、PRしていくことは大切だと思っている。また、相談支援体制の充実などを引き続き行っていく。転出理由の一つに、家賃が高いといった住環境があると思うが、家賃の補助は、財政面から区が支援をしにくい部分だと考えている。</p>
<p>子どもの発信力は大切だと思う。子どもが、学校で感じたことなどを家庭で口にするので親に伝わる。子どもたちが、もっと発言できるようにするのが一番いいと思う。</p>	<p>子どもの権利擁護に係る条例の制定に向け、その検討のための審議会を設置することを予定している。その条例は、子どもが自ら考え、自分の意見を表明することなどを盛り込むものだ。子どもの意見も聴きながら進めていきたい。</p>
<p>避難所マニュアルについて、昼間の想定で避難者全員に検温することなどが記載されていた。実際は、夜間の雨の中で避難所を開設する必要が生じることが起こりうると思うので、最悪の場合を想定して作成してほしい。</p>	<p>避難所マニュアルについては、あらゆる状況を想定し、作成している。</p>
<p>中野区も人口が減少していくと推計される中で、これからは潤沢に区職員がいるということはないと思うので、地域の力が大事になる。人のつながりで、地域力を高めていくことについて、区長のイメージを教えてください。</p>	<p>職員が地域に出て、地域の中で、様々な人と議論し、課題をともに解決していくことが重要だと思っている。具体的には、区民活動センターの職員が地域のコーディネーターとして、地域の人とのつながりを作り、ともにまちをつくっていくことをしていきたい。</p>